

新年賀



年頭のことば



村長 坂本大博

親愛なる村民の皆様謹んで新年の御祝詞を申し上げ併て平素の御厚情に深謝し光輝ある昭和四十八年の年頭に際し一言御挨拶を述べさせていただきます。

願に昨年は学制百年と鉄道百年の記念の年に当り、又新しい憲法と自治法制定二十五周年、そして大正にしても満六十年と大きく年輪を重ねて愈々重厚を増したかと思えば更らに新らしきが求められ絶えず尖進胎動の時代感が伺われます。

斯様な中において我が村政は村議会を始め各種機関団体の協調と全村民の理解ある協力に依って、懸案の小学校統合と幼稚園の新設更らに公民館体制を確立して幼児教育から義務教育の一貫性を期す即ち学社一体の成果と部落的民情の同和を図り、スクールバス等条件実行はもとより、名実共に明るく、豊かに、住みよい村造りの村民憲章を体し多数村民の英智と勇断を以ってせる感激の年に、村民

総合グラウンドの新設管理塔と自動車庫の新築及びび瀬高根道を始め小学校道路の拡巾改良工事並びに玉松海水浴場海浜整備事業として沖合百三十米地点へ全面的に離岸堤工事の年度内完成、又々広域行政圏事業の広域消防の発足と併せて医療急救体制が開始せられる等その全てにたくましく公共事業が然かも覚え芽出度推進せられた訳であります。

斯くして本年は特別に元日早々より、老人医療の完全実施はもとより御約束の道路環境整備事業を始め開発面では、農振特改事業の漁業対策国有林活用諸施策、殊に津軽北部地区大規模草地造成果営事業の地域指定と調査開始就中、中学校々舎の新築を重点に特段の意欲をもって対処する決意であります。尚、十数年に及んだ我が村の郷土史が、今年三月中に完結発刊の運びに至りました。所謂我が村は古代の昔から立派な風俗と慣習に培養された、他に比類のない

うるわしい民風が御座います。私は、先人の遺業を継承す口約の誓いをした。報恩去私、即ち大心の悟りを真剣に自覚し、一身を捧げて事に処す覚悟を新たに致しております。

何卒宜しく御引きまわしをお願い致します。而して村民一人一人に公平なる幸と生き甲斐を原点に施策の万端に亘り細心の留意を払う心掛けて御座います。之れが為めに役場は特に奉仕と親切をモットウに精勤致しますので、何んでも遠慮なく御申出でを御願致します。

さて、紙面の都合から村の大きなまとめの事はかり申し上げましたが、ひるがいつて私情に至れば心ひそかに人それぞれに何等か人世の喜怒哀楽なり願無願の現実の厳しさがままたた事とは何れもありません。私の身の周り得ぬために、疎遠の程を心から御詫び致しますと同時に深く御同情申し上げる次第で御座います。どうか皆さん此の御芽出度く明けました新年は、全村民皆々様の御一人一人に限りない弥栄と御多幸を祈念し、且皆さんで力を合せて何んのいさかひもなく、心温い人情と幸せ一杯の平和なよりよき飛躍の御年に致し度いと念願し粗辞で御座いますが年頭のことばにかえさせて頂きます。

蓬田村公民館報
【蓬 門】 第84号
発行所
青森県東津軽郡
蓬田村公民館
印刷所
不二印刷

〈世帯と人口〉

世帯数	982
人口	男 2,385 女 2,458
計	4,843
	(47.11.31現在)

「蓬 門」原稿募集
「蓬門」の原稿を募集いたします。どんな事でもよいです。原稿を送って下さい。

原稿送付先
蓬田村教育委員会

年頭ごあいさつ



蓬田村議会議長

柿崎喜代作

村民の皆さま、明けましておめでとございませう。
昭和四十八年の新春をお迎えして心から皆様の御健勝をお祝い申し上げます。

願ひますと、昨年は国内国外といわず又県内といわず大きな事件の発生した年でありました。国外では、佐藤内閣の命取りとなったとも言われる米大統領の訪中、訪ソ、そしてそのニクソン大統領の再選、ミュンヘン五輪ゲリラ事件等々国内では国中を驚倒させた連合赤軍のあさま山荘事件や同軍による一連の大量リンチ殺人事件、二十七年間南方の密林と洞窟の中で生き抜いて来た横井庄一の奇跡とも言える生還、そして待望の沖繩祖國復帰等又県内では、保険金欲しさに自分の子供をひき殺した

坂本貞教氏表彰さる



去る十一月十四日の青森県国民年金大会において、坂本貞教氏（中沢）に社会保険庁長官感謝状が贈られた。

坂本氏は年金充足当時から集金人として被保険者（七十五名）の集金にあたり、資格得喪、その他において年金制度の普及に尽された。

随って我々地方議会に携さわるもの責務も従来に比して複雑多様で重大になって来るものと思われまふ。これに対処して行く為には、平素に於けるより一層の研

コツコツ貯えよう

一 国民年金を上積みしてみませんか

新年あけましておめでとございませう。
皆さん今年の計画はたてましたか。いろいろな計画をお持ちの人もあると思ひますが、新年を迎えるたびに近づく老後のために、国民年金を大きくふやす計画も加えてほしいものです。

ごそんじのように、六十五才から支給される老令年金の額は、二十五年かけ金を納めた人で月八千円です。

これでは心もとない、もっと多い年金をうけたい、という人たちのために増額年金があります。この制度は、毎月納めている月

んと努力を必要とすることでしょう。

我等心中深くこれを期すると共に村民の皆様御協力と御鞭撻を願って止まない次第であります。

「たばこ」を蓬田村の店で買いますと「たばこ消費税」として専売公社から村に還元されます。昭和四十六年度の「たばこ消費税」は約四百七拾四万二千円で、村の収入となっております。

毎日吸う「たばこ」は是非村内の小売店から買い求めて村財政に御協力下さるようお願いいたします。

又、出稼留守家族の方が、出稼先の夫や子供等に「たばこ」を送る際には郵送用ボール箱を役場税務課で準備して居ります。

尚、郵送料は全額役場で負担しますから御利用下さい。

一年の計は元且にあり、と言われています。この機会に加入し、これからの人生をより豊かなものにしてほしいと思ひます。

税務課

出稼ぎ者と国民年金

問 私は毎年四月から十二月までの九ヶ月間を、定期的に出稼ぎに行くので、働き先きの会社で厚生年金を掛けています。働きに出ない残りの三ヶ月間は何も掛けていません。こうした、季節労働者やその配偶者は、この三ヶ月間を国民年金に強制加入しなければ、年寄りになって何の年金も受けられませんか？

答 あなたの場合は、厚生年金へ加入してない期間は、たとえ年に三ヶ月でも国民年金へ加入して保険料を納めなければなりません。配偶者の場合も同様です。その結果、たとえ、国民年金の保険料納付済期間が五年くらいしかなくても、厚生年金に加入した期間と合わせて、二十五年以上あれば、通算老令年金が支給されるのです。



久慈善徳 世界放浪の旅

アタロポリスの丘から村民の皆様に新年のお慶びを申し上げます。郷里を離れて早四ヶ月になり放浪の旅もだいぶ慣れて来まして。

スペインを出てスイスに入ったのが十一月十二日、スイスには二日しかいなかったが文句なく素晴らしい。登山家にとっては絶句するような美しい風景の連続、美しすぎて人間を寄せつけようとしないうのがちょっと気にかかった。

スイスからミラノへ入ったが大変な失敗をしてしまった。パスポートとイラベラーズチエク(旅行小切手)をスラれてしまったのです。イタリヤは泥棒の多い国とは聞いていたがまさか自分が被害に合うとはなんとしたことでしょう。領事館で再発行してもらった



ら、なんと五十ドルとはおそれいりました。これが放浪生活にあとあとまでひびきサイフのひもは縮っぱなし。

水の都ベニス、その名にふさわしく霧に包まれゴンドラの浮かぶ水辺に立つとわれを忘れて立ちつくしてしまふ。

フローレンス、花の都そしてミケランジェロの街、ダビデの像、最後のピエタがある。この街の美術館には日本語の話せるガイドがいてフローレンスの歴史を話してくれた。しかしこの街もかつての栄光ミデッチ家や、ミケランジェロに結びつかず僕には好きになれずやはり三日で飛びだし、ローマへと足を運びました。

ピサの斜塔、円形コロシアム等とてもとても、数えられるものではない。古代ローマの遺跡には、ただただ驚くばかりである。

数々の遺跡をあとにしナポリへ向い、あまりの貧富の差のはなはだしさに驚かされました。駅の裏にはスラム街、貧乏人のたまり場があり、うすよこれた白壁に洗濯物がいっぱいぶらさがり、子供達のみずぼらしい身なり、乞食の多い路上、又一方では高級住宅街、三千万円もする高級車を乗りまわしている若者、そして古代遺跡が車の波におし流れそうな国それがイタリアなのです。

期待はずれの上位等級米

今年春からの天候に恵まれ、増収と良質米生産が大幅に期待されてあったが、いざ入庫するや、農家が予想したようなものとは異はらに農家及び関係者がかっかりしている。

取量は昨年より大きく水をあげ、等級も昨年の比ではないが、初期入庫時は三等米五〇%台に伸びこの分なら最盛期には六〇%の大台に乗るのではないかと期待したが入庫が進むにつれて下向きを辿り、十二月二十五日完庫時には

三等は三〇%に止まった。その要因は様々あるが、施肥管理、品種差もさることながら調整において一寸の選別により四等に落ちるものも見受けられると、前田検査員の言であった。

自由米に大きくウェイトをもつ今後の農政からしても、品質を高め買手の飛びつく良質米の生産は今後の農家の課題とされている。来年は本年の作柄等級を反省し来年の計画を組むべくストーフ収穫をして戴きたい。

検査等級別数書

(12月25日現在)

等級	2	3	4	5	計
部落名	俵	俵	俵	俵	俵
中 沢	4,029	8,252	12,281		
長 科	4,788	7,675	12,463		
阿弥陀川	3,326	6,968	10,294	102	10,390
蓬 田	1,722	9,746	11,468	85	11,553
郷 沢		665	4,341	102	5,108
辺 地	1,914	3,234	5,148	108	5,256
瀬 瀬	1,034	2,742	3,776	106	3,882
高 根	2,322	2,402	4,724	20	4,744
計	19,800	45,360	65,160	523	65,683
%		30%	69%	1%	

老人医療費支給制度のあらまし

○老人医療を受けられる人
一、年令満七〇才以上であること。
二、所得が少なく医療費を支払うことが困難であること。
三、国民健康保険や外の健康保険などの医療保険に加入している。

昭和四八年一月一日から医療を受けるには次の書類を病院の窓口提示すれば無料で医療が受けられます。

- 一、医療保険の被保険者証
 - 二、老人医療費受給者証
 - 三、老人医療費請求書(役場から貰う)
- 無料となる範囲

医療保険によって保険が適用される場合の自己負担分が無料化されます。従って入院時の付添料や室代の差額などは含まれません。

○病院で現金を支払ったとき
保険で診療を受けられないときなど病院の窓口で現金を支払うことがあります。この場合も、後で役場に申請して老人医療費を現金でもらうことが出来ます。この場合必要な書類

一、医療機関の領収書
二、保険者の証明書

○保険の附加給付がある時
健康保険組合、共済組合では、医療を受けた後で附加給付の支払われることがあります。この分は老人医療給付の対象とならないので市町村が保険者から受けとります。

この場合必要な書類
一、附加給付の委任状
○これからの手続き

一、明治三六年一月以前に生れた人は十二月中に受給者証が渡されますが、国民健康保険以外の保険に加入している時は早目に手続きして下さい。
二、二月以降に七〇才になる人は七〇才になる月の前に手続きして下さい。

○届出が必要なきの用紙は役場にあります。
一、受給者証を破ったり、失くしたとき。
二、氏名が変わったとき。
三、住所が変わったとき。
四、死亡したとき。
五、医療保険の種類又は記載事項が変わったとき。

詳細については問合せは役場民生係へおたづね下さい。

熊本全国大会報告

坂 本 豊 水

十一月十七日、十九日まで第二十一回全国公民館大会が九州熊本市で開かれた。

私は教育委員会の命により出席することになった。

南国の十一月は実に陽気で青森の九月末か十月の気候であった。大会期間中雨の日もなく快適であった。



(熊本城)

本会場は熊本市民会館で開かれ、丁度熊本城の入口にあたる場所にある。

北海道から沖繩まで二千人の公民館人が集まった。

十七日午前十時開会式に入り、全国公民館優良職員表彰が行われ各都道府県から一名づつの被表

彰者であった。

青森県からは十三名出席した。午後から六分科会に分れ、私は町村行政施設の部に加ることになった。

討議概要

①公民館義務設置の促進

市町村では中央公民館に重点を置いておられると、地区館を中心にしておられると、多数の類似館(部落館)を設置しているところなど、その設置状況は複雑多岐である。

この現況下、基準館の適正配置と各種別館の相互の協力機構の確立ならび未設町村の解消を図るために、公民館の義務設置の実現を期し、社会教育の中心センターとして位置づけることが焦眉の急である。

②公民館の望ましい施設、設備

近代社会の進歩に対応する学習の場として機能を發揮するため、公民館設置基準の引上げ実施、スポーツ、レクを行なう体育施設の併設が必要である。

また、生活様式や価値観の変化の激しい昨今、住民が喜んで利用し参加するすぐれた公民館とする

ためにはもっと住民欲求を取り入れた施設、設備の充実方法を検討すべきである。

③公民館の財政制度の確立

公民館の他の施設の借用または間借りを解消するために、建築補助の定率修正、基準単価の大幅引上げと、公民館活動の全面展開のため「専任職員」を必ず置くよう人的体制の確立を図るため国庫負担法の早期制定が強く望まれる。

また地方交付税算定のなかで、新しく公民館という独立した項目を設定することにより、県、市町村の理解を深めるのに役立ち、公民館の運営費や事業費の増額を期するため関係機関に働きかけるべきである。

四十八年度予算において三十八億円は是非獲得するよう公民館全体の姿で国に働きかけるべきである。以上の結論を得て一時、四時三〇分まで熱気溢れる討議がなされ第一日目を終った。

第二日目は昨日の分科会の報告し、全体討議に入った。私の所属した行財政部会の全体討議において、東北、甲信越プロ

ックから公民館専任職員は必ず設置するよう法制化の早期実現が強く要望された。

全公連執行部もそれを了承し働きかけることを約束された。

昼食時郷土芸能アトラクションがあり午後一時から記念講演、講師は文芸家宮崎康平氏により三時間わたる長講があった。

宮崎氏は島原市に生れ現在島原に住んでいる。

演題は「生きがい論の立場からの古代史の展望」

講演要旨
昭和二十四年三十二才で失明、全盲となる。

幼児と乳呑み児の二児を残し妻に逃げられ失望のどん底に陥入る。たそがれどき盲目の背に乳呑み児を背負自殺に迫られること数回あるも実現出来なかった。

そのとき心の奥から生れたのは島原の子守唄である。

人間とは真に苦境に陥ったとき、足の爪先から頭の尖端に至るにしみ出るように生れるものこそ真に人の心に訴える作品が生れるものである。

生きがいとは己の心からの発想である。
盲目とは目明きの人に到底解らぬ特権がある。

近代医学が進歩し、若し私の目を開けることが出来るとしても私は目を開けない。決して負け惜みではない。現在盲目としての特権を失うからた。

民族の長い歴史は自然と風土によって築かれてきたものである。古代を展望するに、中国、朝鮮、シベリヤから吹く季節風を調べても判る。

日本の文化の興り、日本民族の発展等はまだまだ探究の要が残されその研究こそ私のこれからの仕事であり使命感である。

近頃女上位と聞く、おかしくても云えない。多少の変革はあるにせよ男は女の尻に敷かれるなどもっての外である。

そうならチンポをもぎとった方がよい。女を愛することは男の特権である。女は常に強い男を要求している。女の尻の下にある男は女を愛することを自ら放棄している。真の愛情は強いものであり男としてパロメータである。

古代から現代まで日本の歴史は男上位で築かれてきている。

いつ如何なるときも男は女をかばい女に満足感を与える強い能力がなくてはならない。

以上は要旨であるが、終始笑いと緊張のうちに二千の聴衆をひきつけ、私もこんな実のある講演は聴いたことがなかった。

南の熊本まで来てこんな有意義な講演をきくとおぼろげな印象。第二日目を終りそれぞれ散った。スペースの都合でほんの一部分しかの報告出来ませんがこれを以て復命書に替いさしてもらいます。

私たちの生活と税金

税金は、国や県や市町村のいろいろな仕事に使われ、私たちの日常生活と深いつながりをもっています。

そこで、その税金のゆくえと地方税のあらましを述べ、それらの税金が私たちの生活にどのように結びついているかを簡単にまとめたいものです。

これによって、納税の義務とその用途について正しい理解と関心を深めていただければさいわいです。

一 県のしごと

(県のゆくえ)

県や、市町村などの地方公共団体は、私たちの日常生活に密接な関係をもったいろいろな活動を行なっています。この活動に必要なお金(財源)を用意したり、管理したり、使用したりすることを地方財政といひ、その一年間(会計年度)の収入(歳入)と支出(歳出)の計画のことを予算と呼びます。

地方公共団体の財源には、自主財源と依存財源があります。自主財源は地方公共団体が自ら集めて、自らの意志で使用することのできる財源のことをいい、反対に依存財源は、国に依存している財源のことをいいます。

県や市町村は、私たちの日常生活をより豊かにし、住みよい郷土にするために道路、学校、下水道

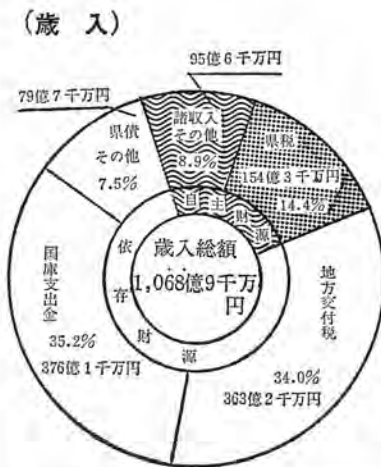
公害対策など、たくさんのお仕事をやっていますが、自主財源の少ない本県では、限られた財源では住民の要望に応じきれないというのが実状になっています。

本県の昭和四十七年度一般会計予算(一般会計とは、特別会計に対するもので、主として税金収入により、教育、治安、公共投資などの一般的な支出をまかなう会計をいいます)は歳入、歳出とも一、〇六八億九、一七〇万円(九月補正予算では一、一五七億五、五〇七万円となっています。)

前年度予算と比較すると一八・五%の増加となっています。この予算について、もう少し詳しくみてみますと次のようになります。

歳入とは、まえにも述べました

一 歳入予算



昭和47年度歳入予算 (当初)

ように家計でいえば収入のことです。本県は自主財源が少ないという点については前にも述べましたが、図でみますと黒い点の部分が自主財源で、ほかは依存財源となつています。県税は、自主財源のうちでも最も多くを占めており非常に大切であることがわかります。

また、依存財源についても、そのほとんど(地方交付税や国庫支出金など)は私たちの税金が還元されたものです。地方交付税は、国税のうちの所得税、法人税および酒税の三二%のうちから配分を受けているものです。ですから、歳入のほとんどは私たちの税金から成りたつているといえます。

二 歳出予算

歳出予算は、集められたお金が

どのように使われるかをみるもので、家計では支出にあたります。本県の昭和四十七年度の歳出状況は次のようになっています。

三 今年度の重点事項

青森県は、その潜在している力をいま發揮して大きく飛躍しようとしています。それは、東北縦貫自動車道の着工、青函海底トンネルの本工事着工、また、公害のなしい工業基地の建設を目指すむつ小川原大規模開発の進展にあらわれています。そして、今年も、これを受けつぎながら次の事項について積極的に施策を推進しようとしています。

- 1 県土の総合的開発
- 2 産業の開発振興
- 3 社会開発の促進
- 4 教育文化の振興と青少年の健全育成

を昨年に引続いて、今年も四つの柱としました。そして特に

○ 青森県農業計画に基づく農業構造の改善および農業団地の育成などを中心とする農林漁業施策の推進

○ むつ小川原周辺の大規模開発の促進

○ 老人対策をはじめとする社会福祉の充実

○ 公害対策および交通安全対策等の生活環境整備の促進

○ 不況および中小企業対策

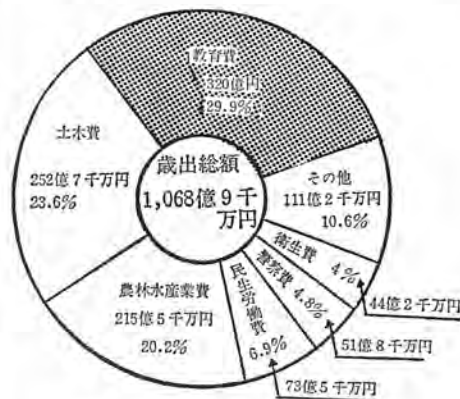
○ 公共投資の拡大による社会資本の整備

を重点施策として推進してまいります。

次号は市町村のしごとをお送りいたします。

税務課

(歳出)



昭和47年度歳出予算 (当初)

赤十字社員

増強運動とは

日本赤十字社は「人道」と「博愛」をモットーとする奉仕団体で、社員と篤志家によって結成されており、日本赤十字社法の保護を受け国際的な組織にもつながっています。

日赤の事業は国際条約で決められている事業のほか、り災者の救助、健康の増進、病気の予防など極めて広範です。

しかし、これらの事業の推進には、まず財源の確保が必要なため、一人でも多くの人たちに社員になつていただくこと、毎年、社員の増強運動が行われています。県支部では、四十八年度の運動期間を二月いっぱいとし、社資五

千二百万円を募集の計画ですが、当蓬田地区でも県支部の基本線にそつて目標額を今年もせむ達成したいので、皆様の格段のご協力をお願い申し上げます。

社員の種類

社員	毎年参百円
銀色特別社員	老万円
銀色特別社員	参万円
銀色有功章	老十万円
銀色有功章	二十万円

前記の額は昭和四十六年四月一日から改正となりました。

しかし、改正前に加入している社員は旧額のまままで完納せば資格が与えられます。

広瀬、高根線道路改良工事完成

山村振興事業で計画中の、広瀬高根線道路改良工事、総工事費一千二百万円、延長、六六六メートル、幅員、五メートルの改良道路が、みなさんの御協力により、このたび完成致しました。

工事中、なにかと、御不便をおかけ致しましたことをおわび致します。

これからも、みなさんの道路として、御利用していただき、より一層良い道路をみなさんと共に作っていきましょ。

一世帯で一人は必ず参百円社員になり、赤十字事業の推進に

出かせぎに行かれるみなさん

次のことを守って下さい

- 一、安定所又は市町村役場へ行ってよく相談して仕事場を決めること。
- 二、出稼手帳をもらって行くこと。
- 三、出稼ぎに行く前に必ず健康診断をやってもらうこと。
- 四、出稼者傷害保険に入っていくこと。
- 五、事業名とその住所を家族及び役場におしえて行くこと。
- 六、ついたら、家族及び役場へ必ず知らせること。
- 七、事業所の現場の責任者から仕事の注意とかきまりをよく聞くように。
- 八、現場のきまりや注意をよく守ること。
- 九、働く場所、事業所をかえたら必ず新しい居所を家族及び役場に知らせること。
- 十、貸金の未払いがある場合は、出稼労働者手帳に書いてもらうか、または未払いの内訳を事業所の責任者に書いてもらって事業所のあるところの監督署に知らせしておくこと。

その外、いろいろ不明な点があったらすぐに役場の方へ電話をして問い直すようにして下さい。

いずれにしても出稼期間中は事故のないよう体に気をつけて、明るくたのしい出稼ぎにして下さい。

蓬田村出稼組合



(村功労賞幼彰式)



(昭和四十七年度青年学級開級式)



(スポーツ功労賞受彰式)